

赤れんが

平成18年 冬号

- 巻頭「医療事故防止対策」
- 特集「医療安全」
- 「電子カルテ始まる」
- イベント報告
- 診療案内他

理念
鳥取県立中央病院は、県の基幹病院として良質で思いやりのある医療を提供します。

方針

- 私たちは、急性期の高度・特殊医療をおこないます
- 私たちは、地域の人たちの安心・安全のため、救急医療に取り組みます
- 私たちは、地域の医療機関との連携強化に努めます
- 私たちは、地域の人々が納得される医療を行います
- 私たちは、組織人としての役割を遂行できるよう、研修・研鑽します



「医療事故防止対策」

鳥取県立中央病院

副院長 根本良介

昨年は、JR福知山線の電車脱線事故、マンションの耐震偽装、アスベスト（石綿）による健康被害など大きな事件が目を引きましたが、これらの事件のキーワードは「安全管理」に尽きます。

医療の世界においても、「安全管理」はもっとも重要な課題であります。数年前、全国各地で医療事故が相次ぎ、医療に対する信頼が大きく揺らぎました。私たちの病院では、医療に対する患者様の信頼を取り戻すため、さまざまな面で患者様の安全を確保するための対策に取り組んできました。

患者様との信頼関係を築くために一番重要なことは、十分な説明と理解、そして納得のいく医療を行うことです。これをインフォームド・コンセントと言います。医療スタッフの技術の向上や病院全体の医療システム・設備の改善により医療の水準を引き上げることも重要です。中央病院ではそのための十分な予算を毎年確保してきました。患者様、

あるいは家族参加型の安全対策にも取り組んでいます。リスト・バンドによる患者確認、転倒・転落予防のための事前チェックがその一例です。

しかし、ヒト・モノ・カネだけでは「安全管理」のゴールは見えません。「安全を第一」とする文化の醸成が重要です。病院の職員だけでなく、県民全員、そして何よりも社会全体で「安全文化」を共有することが、私たちの目指すところです。

病院機能評価の認定をうけました。



平成17年6月に病院機能評価の認定をうけました。病院機能評価とは、病院を対象に第三者評価を行い、病院の現状の問題点を明らかにするものです。

その結果機能改善が認められた病院に対しては認定証が発行されます。

「中央病院の医療安全体制」

医療安全対策室
副室長 大西益美

中央病院に医療安全対策室が設置されて3年目となりました。高度医療とともに、より安全で安心していただける医療の提供をめざして活動しています。

〇日々の活動

日々の医療・看護の場面でヒヤリ・ハットとしたことをレポート報告し、大きな医療事故とならないよう対策をたてます。これまでの活動の主な成果として、

- ①患者様の誤認防止のためのリストバンドを導入
- ②一次救命処置のためのAED（自動体外除細動器）の設置

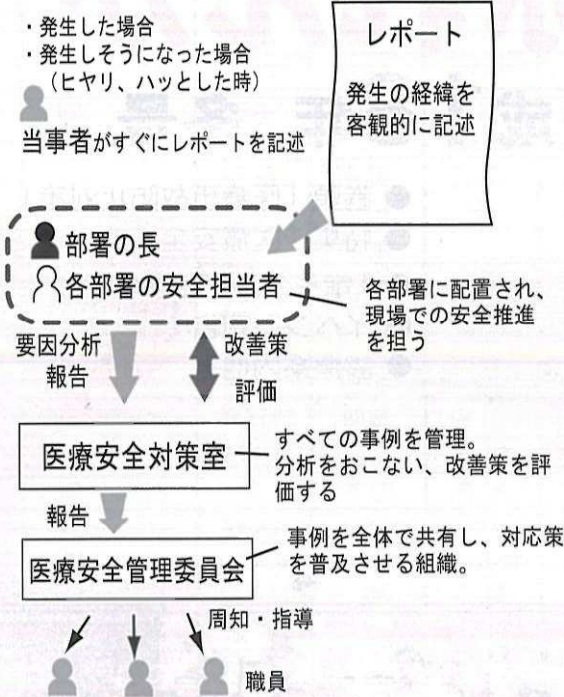


- ③その他安全な医療器具・医療材料の使用
- ④入院患者様の転倒転落防止対策など

があります。

〇これからの取り組み
「安全な医療」のため、病院内すべての部門で協力して取り組み、全員参加の研修もかさねていきます。
一人一人が安全への意識をより高めていかなければなりません。
また患者さまからのご意見・情報が大きき力となりますので、ご協力をよろしく願います。

医療安全レポートの流れ



特集 医療安全

鳥取県立中央病院における医療安全対策について特集します。

「各部門での取り組み」

転倒転落部門

田中美佐子

転倒・転落防止対策は患者要因が主体のためこの施設でも苦慮しており、当院でも第2位と件数がなかなか減少しません。そのような中でインシデントレポートを元に、転倒・転落防止対策フロアシートを作成したり、床じきマットやポータブルトイレ用滑り止めマット、離床センサーを導入を行いました。今後、薬剤との関連や身体要因・認知能力との関連を他部門と連携して詳細分析を行い、対応マニュアルを進化させていきたいと思います。患者様に、基本であり目標でもある「安全」を提供することは、皆様の協力なしではできません。皆様のお知恵を医療安全対策室にお寄せください。

薬剤部門

吉村 卓子

薬は人の生命・健康に直接影響を及ぼすものです。薬剤部では、患者様に薬を安心して正しく使用していただくため、薬局内に設けた「薬相談室」や、入院患者様のベッドサイドで薬の説明を行っています。

薬は優れた効果がある一方で副作用も併せ持つため、常に最新の薬の情報を取り入れ身につけるようにしています。

医療安全対策室へ各部門から報告される「ヒヤリ・ハット」した事柄は、薬に関するものが多く、他部門と協力しあい原因を分析し、すばやく解決するよう心がけています。

平成16年 鳥取県立中央病院での
医療安全レポート発生件数
1,136件（※月平均100件）

発生場面

1位	薬剤に関する事	32%
2位	転倒・転落	20%
3位	点滴・尿パットのチューブ関連	18%
※	その他	30%

発生レベル

ヒヤリ・ハット	16%
レベル1（観察）	67%
レベル2（軽度）	13%
レベル3（中度）	4%
レベル4～5	0%

起こる前に防ぐ！

電子カルテでは、薬剤投与時に指示内容や量、速度などをチェックするシステムを構築し、医療の安全を強化します。

院内トピックス

『電子カルテ』始まる！

平成18年2月1日(水)より電子カルテシステムが仮稼働します！！

☆「電子カルテ」とは

現在、紙のカルテに記載している診療の記録、検査結果、放射線画像などの診療情報をコンピュータの中で一元管理するものです。

☆電子カルテが入ると・・・

- より安全な医療が行えます。
 - ・薬・検査等の指示の転記ミスや注射忘れ、重複投薬や副作用のチェックが強化されます。
- 医療の質が向上します
 - ・過去の検査や投薬などを素早く検索し、詳細な比較やグラフ表示が可能になります。
 - ・医師の説明書や診断書が電子化され、より読みやすくなります。
- 業務が効率化されます
 - ・各部署を効率化し、新たなサービスの展開が可能になります。

！
 現行のシステムから円滑な更新を行うよう万全を期して準備を行っていますが、導入当初は機器操作の不慣れによる待ち時間の増加、コンピュータの不慮の障害等により御不便をおかけする場合も考えられます。

何卒御理解の程よろしくお願い申し上げます。

新生児集中治療室をリニューアルいたしました。



11月1日より新生児集中治療室(NICU)が新しくなりました。広いスペースをとり、空調設備・医療ガス供給設備・電源等を改修・整備いたしました。

集中治療を要する新生児患者数は、年々増加する傾向にあります。中央病院は、県東部から中部、但馬地方を含む医療圏で唯一の周産期センターです。その役割を果たし、ハイリスク新生児に対する安心・安全医療のいっそうの向上を目指します。

なお、現在、病棟の一部を改修中です。改修後は、ナースステーションがオープンカウンターになります。工事中は、たいへんご迷惑をおかけします。なにとぞご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。

ふれあいフェスタをおこないました。

11月19日(土)、毎年恒例の「中央病院ふれあいフェスタ」を開催しました。病院職員とボランティアのみなさまによるバザー、喫茶、作品展やコンサートをはじめ、健康&糖尿病相談、アロマセラピー、傘おどり、落語などの個性豊かな催し物がありました。患者様やご家族の方などにおいていただき、たのしい一日となりました。



クリスマス会を開催しました

今年も、6階東病棟(小児病棟)でクリスマス会が催されました。

病棟の入り口には、人形やモールで飾り付けられた大きなもみの木が登場し、サンタやトナカイに扮した医師や看護師が、プレゼントを持って病棟に登場すると明るい声があがりました。

外来診療案内

(平成18年1月1日～)

名称	月	火	水	木	金
総合診療科	田中孝	山口	浦川	石飛	小村
	杉本	清水辰	田中究	榎崎	岡田
内科	榎崎	榎崎	田中孝	(杉本)	清水辰
	岡本	田中孝	岡田	小村	杉本
	田中究		武田倬	山本寛	
循環器科	那須	遠藤	吉田	吉田	菅
	吉田	吉田	菅	遠藤	那須
神経内科	中安	土居	中安	土居	中安
	鈴木香		土居		鈴木香
精神科	松林	松林	松林	松林	松林
小児科	常井	星加	宇都宮	星加	常井
	宇都宮	豊島	横山	田村	横山
	星加		星加	豊島	
外科・小児外科	岸	澤田	清水	河村	中村
整形外科	服部	山本清	鱈(すずき)	山本哲	山崎
	山本清	山崎	山本清	服部	山本哲
	山本哲	鱈	山崎	鱈	服部
形成外科	坂井		坂井		坂井
脳神経外科	稲垣	宇野	稲垣		稲垣
胸部外科	宮坂	谷口		森本	
		中嶋			
泌尿器科	根本	渡邊	太田	渡邊	根本
皮膚科	河上	河上	河上	河上	河上
産婦人科	皆川	大野原	池野	堀江	皆川
	大野原	池野	皆川	皆川	大野原
	池野	堀江	大野原	池野	堀江
眼科	伊藤	三宅	伊藤	三宅	三宅
耳鼻咽喉科	竹内	竹内	大学医師	竹内	大学医師
	鈴木(午後)		鈴木		鈴木
放射線科	藤原	中村	中村	小川	藤原
麻酔科	内田	坂口	内田	小笹	内田
口腔外科	倉立	倉立	倉立	倉立	倉立
	池田	池田	池田	池田	池田
人間ドック	佐々木	石飛	根本	佐々木	佐々木
救急科	岡田稔	岡田稔	岡田稔	岡田稔	岡田稔

鳥取県立中央病院
外来診療受付時間 8:30~11:00

※外来は基本的に予約制です。

予約に関する変更・お問い合わせは午後2時から受け付けます。

※緊急手術等で担当医が変更になることもあります。

面会時間 13:00~20:00

専門外来等

名称	曜日	担当医
ペースメーカー	水・午後	循環器(菅)
アトピー	水・午後	皮膚科(河上)
尿失禁	水	泌尿器科(渡邊)
乳腺	火	胸部外科
スポーツ	水・午後	整形外科(鱈)
リウマチ	金・午前	整形外科(山本哲)
アレルギー・花粉症	月・午後	耳鼻科(鈴木)
更年期	金・午後	産婦人科
発達	第1・2・3・5 金・午後	小児科(豊島)
小児肝炎	月・午後	小児科(星加)
乳児健診	火・午後	小児科
妊婦教室Ⅰ	第2水曜 午後	産婦人科
妊婦教室Ⅱ	第3水曜 午後	産婦人科 小児科
安産教室	第4水曜 午後	産婦人科
内分泌・不妊症	月・水・金 午後	産婦人科(大野原)
産科・周産期	月・水 午後	産婦人科(池野)
婦人科腫瘍	水・午後	産婦人科(皆川)
網膜・硝子体外来	月	眼科(伊藤)
思春期外来	月・午後	精神科(松林)
物忘れ	火・午後	精神科(松林)
睡眠障害外来	水・午後	精神科(松林)

バス時刻表

バスターミナル～中央病院
約15分 (平成17年4月)

中央病院行き (鳥取駅発時刻)		鳥取駅行き (中央病院発時刻)
40, 50	7	48
00, 20, 30, 50	8	20, 28, 40
20, 50	9	05, 15, 28, 50
00, 20, 50	10	25, 53
10, 30	11	10, 55
20, 35, 40	12	40, 55
00, 50	13	25, 57
30	14	20, 55
10	15	35
00, 30, 40	16	35, 54
33	17	00, 55
	18	
	19	07
※赤字は平日のみ	20	34

十六本松行

7:56
8:16
10:36

網代、岩井 兼島行

10:07
11:27
12:57
16:47

湯村温泉行

09:15
10:30
12:15
13:20
14:50
16:30

○外来診療

- ・一般外来：新規の患者様及び予約外の患者様は午前11時まで。予約患者様は午後4時まで
- ・救急外来：いつでも受け付けます。

○面会時間

- ・一般病棟 13:00~20:00
※入院患者様の安静のため、ご協力をお願いします。
※午後8時以降に来院された方は、時間外受付窓口で受付をお願いします。
※咳・発熱など感染症状を伴う方の面会はお控えください。
※入院患者様に関する電話でのお問合せには、原則お答えしておりません。
- ・救命救急センター 7:30~8:00 12:00~13:30 17:30~20:00

発行 鳥取県立中央病院 (〒680-0901 鳥取市江津730)
院長 武田 倬
電話 0857-26-2271 ファックス 0857-29-3227
ホームページ: <http://www.pref.tottori.jp/chuoubyouin/>
E-mail: chuoubyouin@pref.tottori.jp